

平成25年度株式会社五霞まちづくり交流センター (道の駅「ごか」)の経営状況



道の駅ごか9周年イベントの様子(五霞中学校 吹奏楽部)

株式会社五霞まちづくり交流センターの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの1年間の経営状況が公表されましたので、お知らせします。

道の駅「ごか」の来場者数は順調に推移しています。平成25年度における施設延べ利用者数(レジ通過者)は、80万4千人、農産物直売所を含む総売上高は約8億5,100万円、交流センターとしての経常利益は約1,000万円になりました。

地域食材供給施設

◆レストラン「華ごぶし」



家族連れや観光団体の来店が多く、様々な地域食材を利用した食事を提供しています。茨城が誇る銘柄豚「ローズポーク」を使用したメニューや五霞町産常陸秋そば粉の手打ちそば(石臼挽き自家製粉)、茨城県産天

然なまず等が大変好評をいただいております。

◆軽食コーナー(最新情報)

幅広い客層に利用され、名物のローズポークまんに加え、五霞町のイメージキャラクターをモチーフにした商品が人気です。手作りの「ごかりまんじゅう」が新発売となり、愛嬌のある表情が可愛いと、子供から大人まで喜ばれています。また、五霞町産米粉を衣に使用した「アイス天ぷら」や、「たまげたカレーうどん・そば」など、話題のメニューを続々と提供しています。

◆農産物直売所「わだいわ菜」



茨城むつみ農業協同組合に運



営を委託している農産物直売所は、毎日新鮮な地場産農産物やローズポークの精肉を求める多くのみなさんに利用され、道の駅「ごか」の活気をより引き立てています。

情報施設・交流広場

情報施設では、道路情報や地域情報を検索するシステムが備わっており、様々な道路利用者に活用されています。

また、五霞東・西小、中学校の児童生徒の作品展など、年間を通して各種展示を行い、利用者の目を楽しませています。

イベント広場では、フリーマーケットやよさこいソーラン踊り、吹奏楽の演奏会などの多彩なイベントが開催され、利用者のふれあいの場としてにぎわっています。

売上割戻金

約826万円を町に納付

平成25年度分の売上割戻金として、株式会社五霞まちづくり交流センターから町に対し8,263,237円が納付されました。

この割戻金については、道の駅「ごか」の今後の修繕費用等に充てる予定です。